

高知県立大学 (所在地: 高知県)

事業名

障害を抱える人と共に創り出す『学び合いの場』

事業の趣旨・目的

障害がある人もない人も、いつからでも学びにアクセスし、「学び合い」のできる場を地域の中につくり、小さな共生社会を創出する。その際には、令和4-6年度にリカバリーカレッジ高知の活動を通して形成した方法論やネットワークを活用し、活動の全般に渡り、精神的な困難を抱えて生きてきたピアスタッフと専門職スタッフが共同創造を行う。そして、行政や社会教育機関、関係機関と協働しながら、障害を抱える人と共に、高知県内に複数の「学び合い」拠点を生み出すことを目指す。

事業実施体制・連携先

高知県立大学を拠点に、各関係機関と連携して学び合いの場づくりを実施する。また、高知県や高知市保健所、障害当事者の会代表、専門職能団体代表、大学教員等で構成される連携協議会を開催。

主な対象

精神/発達障害を主対象とするが、メンタルヘルスに関心があれば誰でも参加できる。

活動分野

学習/普及啓発

事業内容

- ・ 特別講座を年に2回開講し、年間計6コマ程度(1コマ90分)の演習形式での「学び合い」の場を開講する。
- ・ その際、地域の図書館等の社会教育機関や精神保健福祉関係機関と一緒に協働を試みる。
- ・ プログラムはメンタルヘルスの向上や個々のリカバリー促進に関する内容で構成され、障害の有無に関わらず、関心のある人であれば誰でも受講できる。講座受講登録は必要だが、参加費は無料。
- ・ 精神的な困難を抱えるピア講師と専門職講師とが対等で、水平な関係性のもと、講座の企画、運営、実施、ふりかえりを行う(共同創造)。
- ・ 3年間の計画で、各地の関係機関と共に高知県内に複数の「学び合い」の場づくりや運営を協働する仕組みを作っていきたい。1年目は、高知市内、高知県東部、高知県西部の自治体等に協力を依頼し、まずは「学び合い」拠点づくりから始め、2年目は「学び合い」の場の安定、3年目は自走する仕組みづくりを試みたい。

令和4~6年度取り組みでは、参加者、コーディネーターのうち、50%以上が精神・発達等の障害や困難を抱えている人たち！
たくさんの当事者の方たちが参加や運営協力してくれています。



令和6年度実績: 延べ参加者数
定期講座189名、特別講座59名、合計248名

- ・ 初夏講座 @永国寺キャンパス(登録者数22名、延べ参加者数126名)
6/22(土)、7/6(土)、7/13(土)、7/20(土)
- ・ 9/21(土) 特別講座『リカバリーカレッジ高知 in 香美市 元気なたねを見つけよう』
@香美市立図書館かみーる(参加者数:30名)
- ・ 晩秋講座 @永国寺キャンパス(登録者数36名、延べ参加者数:63名)
10/26(土)、10/27(日)、11/9(土)、11/10(日)

事業終了後の目指す方向性

- ・ 学び合いの場を地域に定着させ、継続的に運営する。
- ・ ピア講師・ピアスタッフと専門職による共同創造の実践を維持する。
- ・ 関係機関・行政との協働体制を強化する。
- ・ 高知県内の複数拠点で自走可能な運営体制を構築する。
- ・ 実践知を共有し、学びのモデルとして広く発信する。

その他

講座情報等、活動の詳細については、リカバリーカレッジ高知のWebページやFacebook等のSNSで紹介しています。
HPやSNSの情報は→のLinktreeに掲載しています。
ぜひご覧ください。

リカバリーカレッジ高知 Linktree https://linktr.ee/rc_kochi



Linktree